

# 農業大学校教育課程の見直し及び担い手対策の充実について

農業大学校では、農業の実践教育を通して、将来の岡山県農業の担い手を育成しているが、今後、少子化が一層進み、高校卒業生の争奪戦が益々激化することが予想される。そのため、学生のニーズに沿った魅力ある教育課程に見直すこととし、受験倍率の低い畜産課程を廃止し、受験倍率が高く、農業高校から増員要望のある園芸課程を増員するとともに、カリキュラムを充実させ、即戦力となる人材を育成する。

また、和牛担い手対策については、農業大学校畜産課程に代わる、より実践的な研修の場を設けるなど、充実・強化を図る。

## 1 園芸担い手対策の充実

### (1) 定員の増員

定員を現在の30名から35名に増員する。

### (2) プロジェクト活動の強化

現在畜産課程でも活用しているほ場を園芸ほ場として活用し、農業研究所が開発した最新の技術を園芸課程で実証するなど、卒業後即戦力となる人材を育成する。

### (3) 経営に関する講義の充実

ほ場毎のデータの見える化や、生産性の高い営農技術、消費者ニーズの分析や流通の合理化等、農業DXを取り入れた生産から販売までの実践的な講義を行い、経営感覚に優れた人材を育成する。

## 2 和牛担い手対策の充実

### (1) 情報発信等

専用ホームページを作成し、研修や支援制度等の情報発信を強化するほか、和牛の飼育を希望する方のための相談窓口を設置し、担い手への情報提供を行う。

### (2) 研修制度の充実

(公財)中国四国酪農大学校の和牛カリキュラムの充実を支援し、実践的な専修教育の場を設けるほか、既存の「和牛入門講座」等の拡充や社会人の実践的研修の場として、和牛農場等での研修を強化し、担い手の育成を行う。

### (3) 地域への順応支援

J A、市町村等が行う地域活動への参加を促しつつ、県が巡回による生産性向上の支援を行う。

## 3 今後のスケジュール

- ・令和8年度 畜産課程の学生募集を中止し園芸課程を増員、和牛担い手対策を充実
- ・令和9年度 畜産課程を廃止、園芸課程カリキュラムを充実

### 【参考】受験倍率の推移（過去5年間）

課程	定員	H31年度	R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	平均
園芸	30	1.67	1.33	1.07	1.17	1.43	1.33
畜産	5	0.20	0.00	0.60	1.20	0.20	0.44